

1. 質問

遷移の型とは、どのようなものでしょうか？

2. 回答

遷移の型とは、親の状態を遷移先にした際、どの子状態をアクティブにするかを指定するものであり、「固定型遷移」、「記憶型遷移」、「深層記憶型遷移」の3種類があります。

遷移先指定に型を指定しない場合は、「深層記憶型遷移」になります。

2.1 固定型遷移

固定型遷移の書式は、遷移先指定の後に "(F)" をつけます。

例)

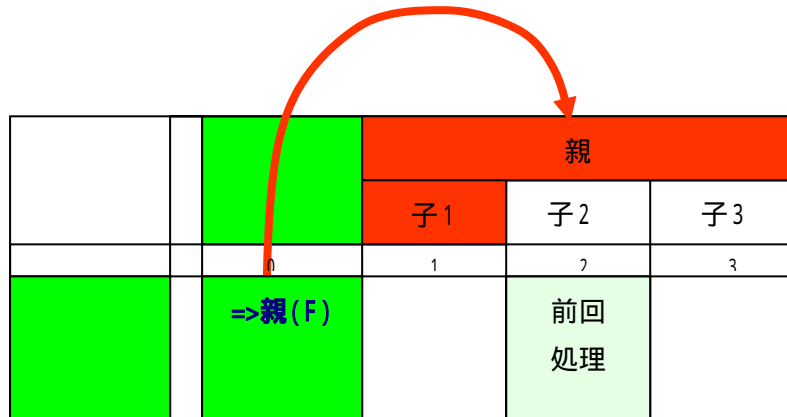
ステート名称(F)

固定型遷移を指定した場合、子状態はデフォルトの状態に固定して遷移します (デフォルト指定が無い場合は、状態番号の若い方が優先されます)。

固定遷移を指定した場合の動作を下図に示します。

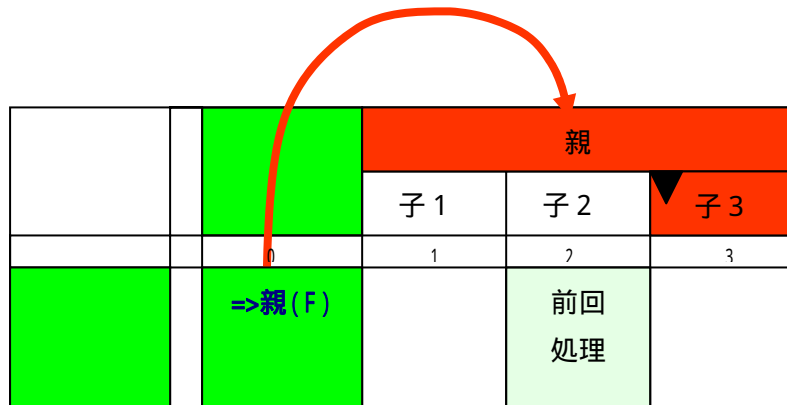
デフォルト状態がないときの固定型遷移

"親" 状態の中で一番状態番号が若い "子1" 状態に遷移します。



デフォルト状態があるときの固定型遷移

デフォルト状態に指定している "子3" 状態に遷移します。



2.2 記憶型遷移

記憶型遷移の書式は、遷移先指定の後に "(M)" をつけます。

例)

状態名称(M)

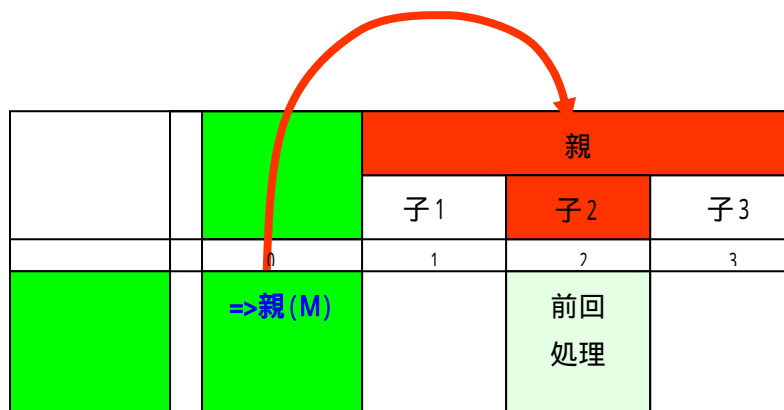
記憶型遷移を指定した場合、第1階層の子状態は前回アクティブであった状態に遷移します（前回アクティブが無い場合は、固定型遷移を適用します）。

第2階層以降の子状態は、固定型遷移を適用します。

記憶型遷移を指定した場合の動作を下図に示します。

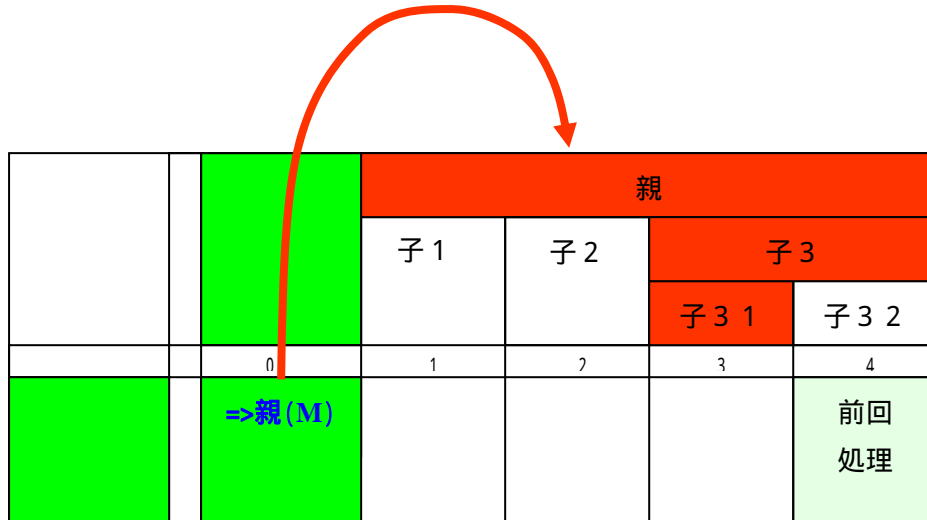
第1階層の記憶型遷移

"親" 状態の中で前回アクティブであった "子2" 状態に遷移します。



第2階層の記憶型遷移

第1階層の”親”状態の中で前回アクティブであった”子3”状態に遷移し、第2階層は”子3”状態の中で状態番号の若い”子3 1”状態に遷移します。



2.3 深層記憶型遷移

深層記憶型遷移の書式は、遷移先指定の後に "(D)" をつけます。

例)

ステート名称(D)

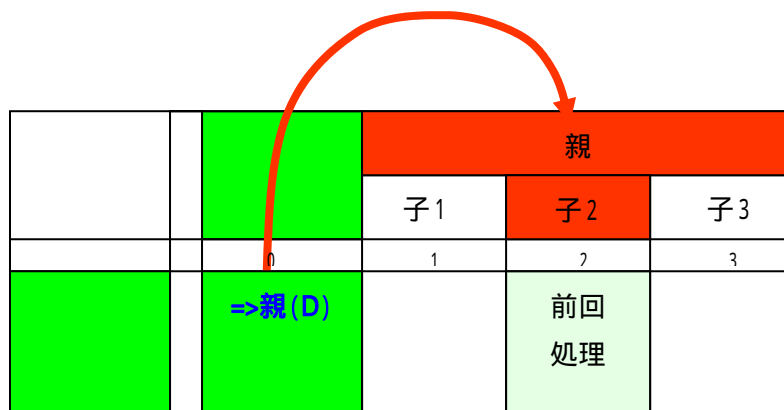
深層記憶型遷移を指定した場合、子状態は前回アクティブであった状態に遷移します（前回アクティブが無い場合は、固定型遷移を適用します）。

また、記憶型遷移と異なり第2階層以降の子状態も、前回アクティブであった状態に遷移します。

深層記憶型遷移を指定した場合の動作を下図に示します。

第1階層の深層記憶型遷移

"親" 状態の中で前回アクティブであった "子2" 状態に遷移します。



第2階層の深層記憶型遷移

第1階層の”親”状態の中で前回アクティブであった”子3”状態に遷移し、第2階層も”子3”状態の中で前回アクティブであった”子3 2”状態に遷移します。

